



平成 21 年 1 月 5 日

各 位

会 社 名 岡藤ホールディングス株式会社
代 表 者 名 取締役社長 松 井 政 彦
(J A S D A Q ・ コ ー ド 8 7 0 5)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 取 締 役 中 村 元 治
電 話 0 3 - 5 5 4 3 - 8 7 0 5

平成 21 年 3 月期第 3 四半期末の投資有価証券評価損に関するお知らせ

平成 21 年 3 月期第 3 四半期末において、当社の連結子会社が保有する投資有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、減損処理による投資有価証券評価損を特別損失として計上する必要が生じたので、お知らせいたします。

なお、四半期会計期間末における投資有価証券の減損処理にあたっては、四半期洗替え法を採用しており、平成 21 年 3 月期の期末日の時価により、投資有価証券評価損の計上額が変動する場合、もしくは投資有価証券評価損を計上しない場合がございます。

記

1. 平成 21 年 3 月期第 3 四半期末の投資有価証券評価損の総額

	連結
(A) 平成 21 年 3 月期第 3 四半期末の投資有価証券評価損の総額	1,273 百万円
(B) 平成 20 年 3 月期の純資産の額 (A / B × 100)	10,761 百万円 (11.8%)
(C) 最近 3 事業年度の経常利益の平均の額 (A / C × 100)	388 百万円 (328.1%)
(D) 最近 3 事業年度の当期純利益の平均の額 (A / D × 100)	74 百万円 (1,720.3%)

(ご参考)

当社の決算期(事業年度の末日)は、3月末であります。

平均額の算出にあたっては、19年3月期、20年3月期の経常利益および19年3月期の当期純利益を0として算出しております。なお、当社の設立は17年4月でありますので、最近3事業年度の平均額となっております。

2. 今後の見通し

平成 21 年 3 月期第 3 四半期累計期間において、投資有価証券評価損として 1,273 百万円を特別損失に計上する予定であります。また、通期の業績予想につきましては、現在精査中であり、業績予想の修正が必要と判断される場合は、確定次第すみやかにお知らせいたします。

以 上